

# 校長室 11

校長室だより（令和6年度）

## 第40回卒業式を行いました

写真は保健室前のお祝い飾りです。

3月3日（月）は第40回卒業式でした。

多くのご来賓の方とご家族の方においでいただき、卒業生たちが笑顔で本校を巣立っていきました。大切な卒業式を優しい言葉と温かい雰囲気に満ちた時間にしていただき、校長として感無量です。

壇上で呼名を聞く私にも、この日まで生徒たちと関わってきた3学年の先生方の思いが伝わってきました。何より、返事とともに起立する生徒たちが実際に晴れやかな顔を上げているのを見ていて、胸がいっぱいになりました。生徒会長Wさんの送辞も立派でしたね。

そして答辞を読み上げるIさん。綾瀬西高校で過ごした日々への感謝の思いを、涙で声を詰まらせながら堂々と語ってくれました。素晴らしい言葉を本当にありがとうございました！ 卒業生のみなさんの未来が幸せなものでありますよう、全ての職員が祈っています。

3学年の先生方のすごいところは、卒業式予行の準備にも余念がなかったことです。

予行では、体育館で卒業式での流れを確認しますが、ひととおりが済みこれで終了すると思いまや…先生方が「教員サプライズ」と称した卒業生たちへのプレゼントを、用意してくれていました。

O先生とI先生によるショートコント（！）に始まり3年間を振り返った「卒業ムービー」の上映、



最後に歌のプレゼントで生徒たちを盛り上げてくれました。歌の伴奏はH先生によるピアノ演奏です。私は事前に「H先生がものすごく練習している」という証言を小耳にはさんでいましたが、さすがH先生、生徒たちにどよめきが起こる巧みな演奏でした。

歌は「旅立ちの日に」です。事前に私も合唱に誘ってもらっていたので、3学年団の一員として一緒に歌わせていただきました。

生徒たちと先生方の笑顔が忘れられません。

## 次年度に向かって

3月は年度のまとめの時期であるとともに、4月に入学してくる新入生を迎えるための様々な準備をしていく、大切で大変な時期もあります。3月の学校は、何度経験してもやっぱり慌ただしいのです

が、特別な活気<sup>かつき</sup>にあふれる毎日でもあります。卒業生を見送ったと思えば学年末試験、入学予定者説明会、成績の会議、本校を離れる先生方の離退任式<sup>りたいにんしき</sup>に修了式<sup>しゅうりょうしき</sup>。全ての職員で力を合わせ、ひとつひとつに向かっていく熱量<sup>ねつりょう</sup>を感じます。

今年に入り、先生方に「これから綾瀬西高校が目指すもの」についてシンプルな言葉と意見をもらいたい、というお願いをしました。ベテランから若手の先生、すべての先生を巻き込んで考えてほしいという願いを込めて、イメージも併せて会議で説明しました。

どんな言葉が出てくるか楽しみにしていましたが、考えてくれたのはとっても素敵<sup>すてき</sup>で思いのこもった言葉ばかり。報告書を読んで、嬉しくて校長室で思わず声を上げてしまいました。

その中で、私たちのいろいろな思いをまとめ上げている一つを選ばせてもらいました。



「一人ひとりが綾なす学校」～綾瀬西高校は、自分もまわりも大事にする学校です～

「綾なす」とは美しい模様<sup>もよう</sup>を作る、という意味。ご存じ、綾西の校歌の出だしの言葉でもあります。全ての生徒と職員が学校で過ごす中で作り上げていく、美しい模様。私の中で、イメージがぶわっと広がりました。これを考えてくれたM先生に「先生のアイデアをいただきますね！」と伝えたら、「光榮<sup>こうえい</sup>です！」と笑顔で返してくれました。これから先生方と生徒たちに伝えていくのが楽しみです。

ある朝、職員玄関に向かって歩いていたら、ちょうど出勤してきたK先生に声を掛けられました。「校長先生、ちょっと来てください」に従<sup>したが</sup>って付いていくと、体育館の下をひとり掃除<sup>そうじ</sup>しているKさんの姿がありました。サッカー部1年のKさんが、毎日掃除をしてくれているとのこと。K先生と二人、「素晴らしいね」「彼はすごいんです」と小声で話しながら、見つめっていました。まさに「美しい模様」に触れた思いです。

年度末に改めて思うのは、学校という場所が、別れと出会いに満ちた特別な空間<sup>くうかん</sup>だということです。新しい年度はどんなものになるでしょうか。色々な思いをもって、希望とともにそれぞれの4月を迎えましょうね。

保護者の皆さん、デイサービスセンターの皆さん、地域の方々、そして本校生徒を支えてくださっている全ての皆さん、おかげさまで綾西も今年度の終わりを迎えようとしています。

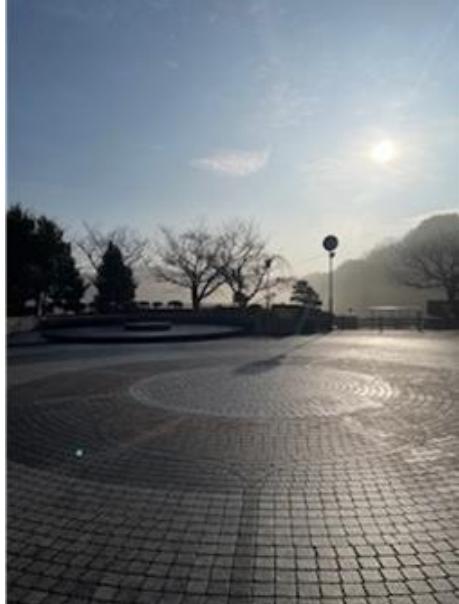


本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

3月に入って、以前部活動の顧問<sup>こもん</sup>をしていた時の生徒たちと久しぶりに食事をする機会がありました。

卒業して早くも10年、当然ですがすっかり立派<sup>りっぱ</sup>な社会人です。面白いもので、当時のことを話すうちに、あつという間に部員と顧問に戻ります。演劇部<sup>えんげきぶ</sup>でしたので、「あの大会の舞台<sup>ぶたい</sup>はこうだった」「先生がこう言ったのが忘れられない」という言葉も飛び出し、笑ったり焦<sup>あせ</sup>ったり。懐かしいひと時を、大いに楽しみました。

お誘い<sup>さそ</sup>したので食事代は私たちが、という言葉や、手土産<sup>てみやげ</sup>まで用意してくれていた心遣い<sup>こころづか</sup>に、教師として関わった生徒が素敵<sup>すてき</sup>な大人になったことと、自分がこの仕事に携<sup>たす</sup>われたことの喜びを、しみじみとかみしめた私です。



霧<sup>きり</sup>に覆<sup>おお</sup>われている、雨の翌朝<sup>よくあさ</sup>の中庭です。

また、お知らせしますね。

